

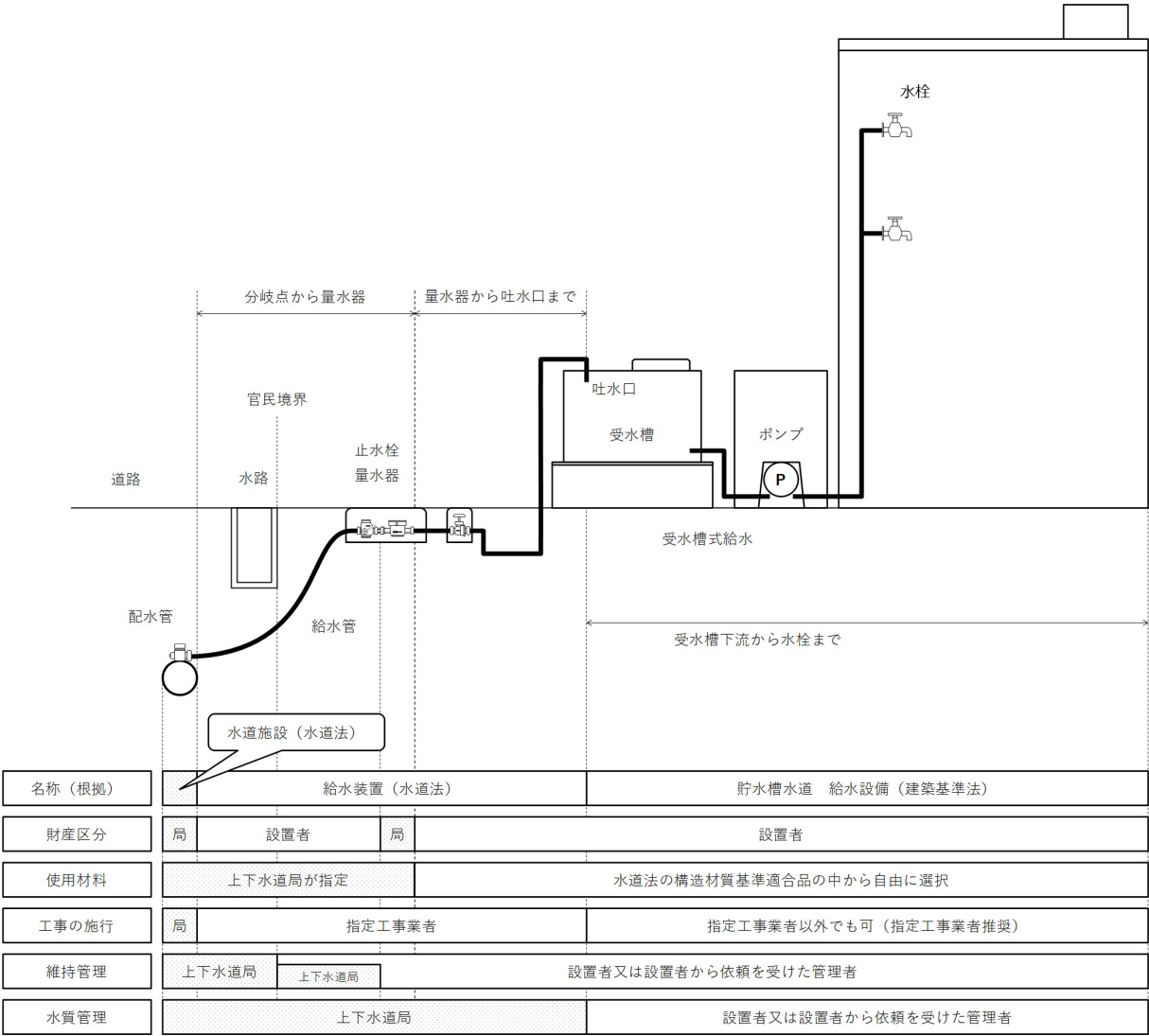
第 10 章

資 料

第 10 章 資料

10.1 給水装置維持管理等の概要図

※局＝上下水道局



- 補足 1 給水装置は一般的に設置者の財産ですが、倉吉市では公道部分に関しては維持管理上、市に帰属しています。（条例第 14 条第 2 項）
- 2 量水器は上下水道局が給水装置の使用者に貸与しているものです。給水装置の所有者又は使用者には保管の義務があります。（条例第 19 条第 3 項）
- 3 量水器上流の給水装置については、漏水、出水不良、止水栓の止水不良の修繕の場合、上下水道局にて無料で修繕します。故意又は過失による場合は有料となります。
給水装置の修繕に伴う宅地内の法面、芝生、植木、又は構造物（大理石、石垣、建築物等）の復旧に関しては、所有者の負担となります。
- 4 配水管の移転や道路管理者の移設命令があった場合、上下水道局にて給水装置に変更を加える工事を行う場合があります。（条例第 17 条）

図 10-1 給水装置維持管理等の概要図(受水槽式給水)
※直結直圧式給水の場合は、吐水口を水栓とみなす。

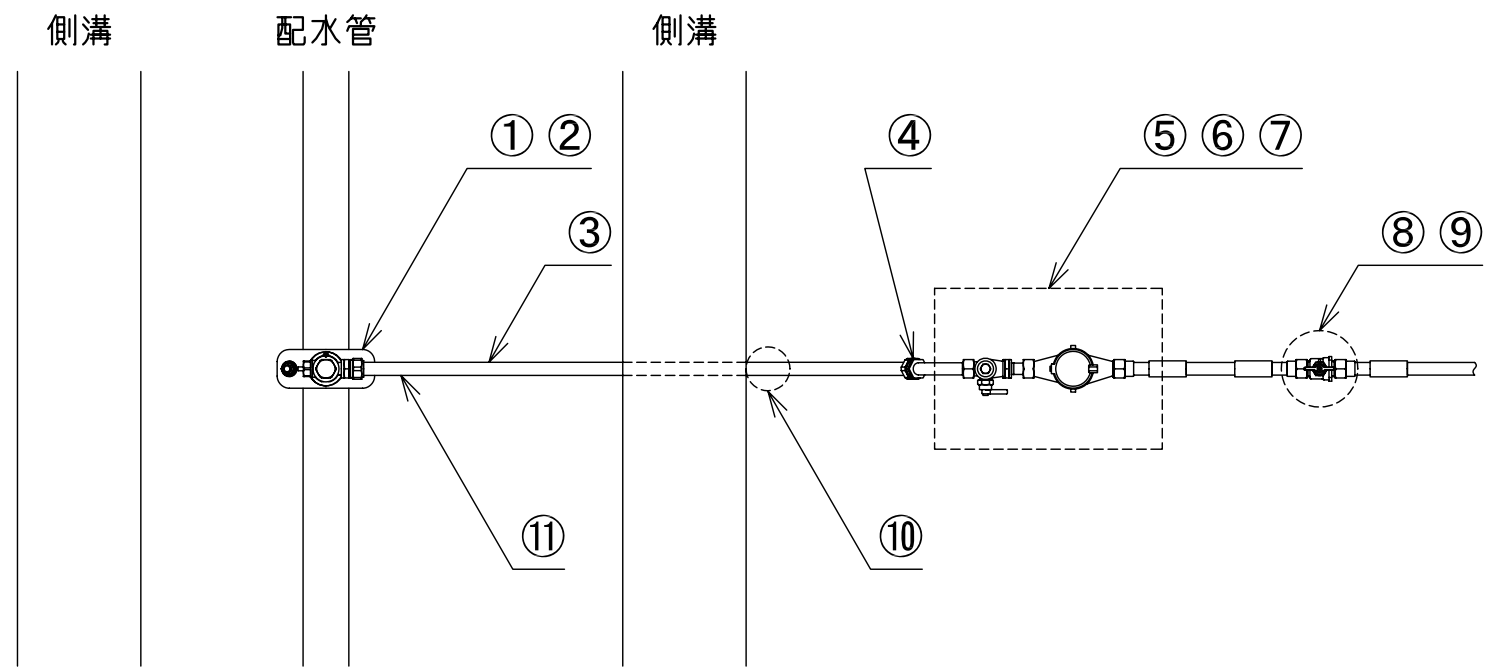
10.2「給水装置工事の材料、工法その他工事施行上の条件に関する規程」に基づく指定材料

量水器まではHI継手は使用しない

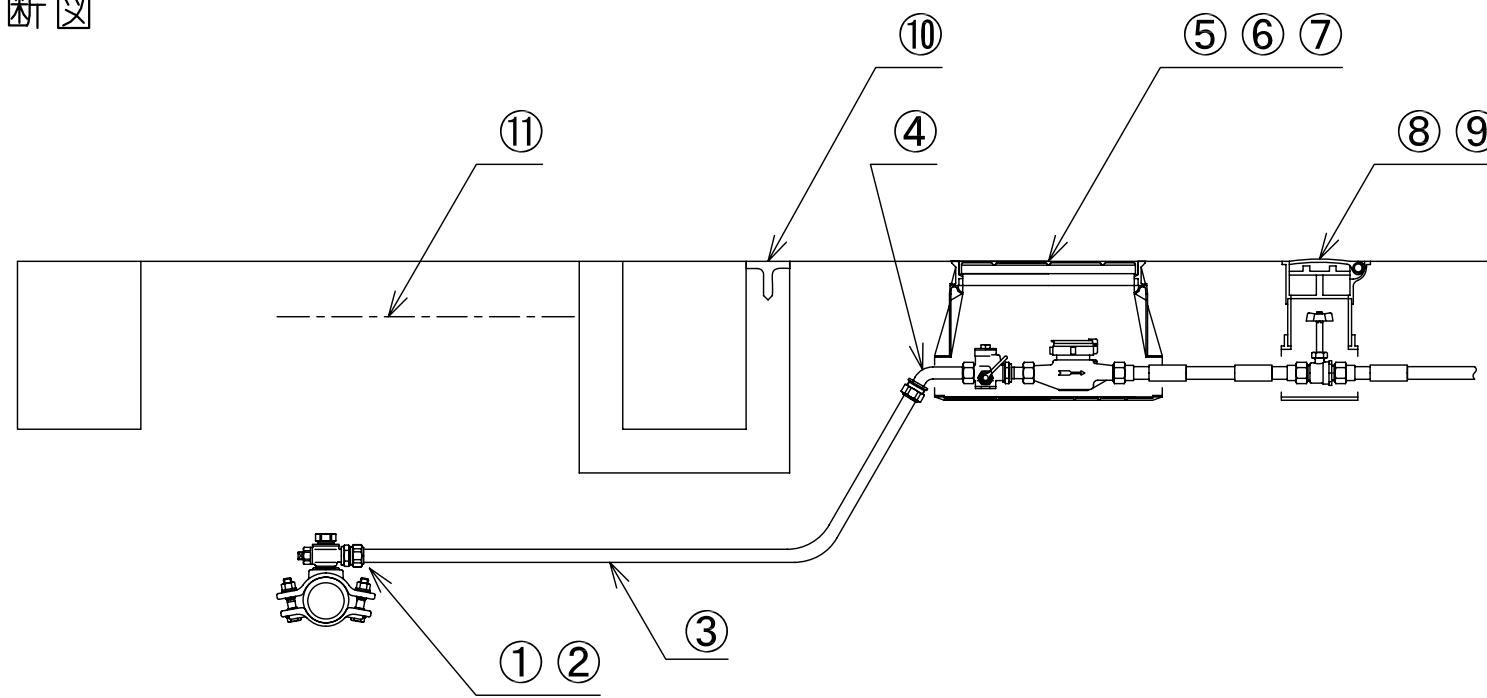
呼び称 (上下水道局任意名称)		名称・規格・品質等			呼び径 (mm)	備 考
大分類		小分類	(JIS / JWWA に基づく)	(特記)	(その他)	
A	給水管	① ダクタイル鋳鉄管	水道用ダクタイル鋳鉄管 JWWA G 113	K型、NS型、GX型		75 以上
		② 配水用ポリエチレン管	水道用配水用ポリエチレン管 JWWA K 144	H P P E 直管・EF受口付直管		50 以上
		③ ゴム輪塩化ビニル管	水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 JWWA K 129	H I V P ・ R R		50 以上 40以上はメーカー規格であるが使用可
		④ 塩化ビニル管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742	H I V P ・ プレーンエンド		13 ～ 150
		⑤ ポリエチレン管	水道用ポリエチレン二層管 JIS K 6742	PE 水道用1種二層管		13 ～ 50
B	給水管継手	① 金属継手（塩化ビニル管用）		40以上：メカ形継手(離脱防止機能付き、内外面粉体塗装) 40未満：伸縮可とう離脱防止継手		13 ～ 150
		② 水道配水用ポリエチレン管継手	水道用配水用ポリエチレン管 JWWA K 145	EFソケット、EFベンド、EFフランジ		50 ～ 150
		③ ポリエチレン管金属継手		コア一体型 管内面止水式	ポリエチレン管（JISK6762）用	13 ～ 50 新設等使用順位：第一位 注意：PE継手（JWWA B 166：コア打込型）ではない
		④ 金属継手（ポリエチレン管用）		40以上：メカ形継手(離脱防止機能付き、内外面粉体塗装) 40未満：伸縮可とう離脱防止継手		13 ～ 50
C	サドル分水栓	① サドル分水栓（本管鋳鉄管用）	水道用サドル付き分水栓 JWWA B 117	防食フィルム 密着コア	DIP・CIP分岐用	75 以上
		② サドル分水栓（本管配水用ポリエチレン管用）	水道用サドル付き分水栓 JWWA B 136	防食フィルム	HPPE分岐用	50 以上
		③ サドル分水栓（本管塩化ビニル管用）	水道用サドル付き分水栓 JWWA B 117	防食フィルム		40 以上
		④ サドル分水栓（本管ポリエチレン管用）	水道用ポリエチレン管サドル付き分水栓 JWWA B 136	防食フィルム	ポリエチレン管（JISK6762）分岐用	40 以上
D	T 字管	① 不断水 T 字管（鋳鉄管用）	水道用ソフトシール仕切弁 JWWA B 120 準拠	内外面粉体塗装		75 以上
		② 不断水 T 字管（塩化ビニル管用）	水道用ソフトシール仕切弁 JWWA B 120 準拠	内外面粉体塗装		50 以上
		③ T字管（塩化ビニル管用）		40以上：メカ形継手(離脱防止機能付き、内外面粉体塗装) 40未満：伸縮可とう離脱防止継手		13 以上
		④ T字管（ポリエチレン管用）		40以上：メカ形継手(離脱防止機能付き、内外面粉体塗装) 40未満：伸縮可とう離脱防止継手		13 以上
E	止水栓	① 逆弁伸縮止水栓		ボールバルブ リフト(自重)式逆流防止・伸縮機能付き	13～50を同型式で揃えているものに限り 50は量水器側フランジ・ネジ両タイプ	13 ～ 50 レバーハンドル位置は、二次側に向かって右側とする
		② ボールバルブ		ボールバルブ、平行おねじ T（蝶）ハンドル		13 ～ 50 (給水幹線へ設置する場合は仕切弁とも呼ぶ) 補助止水栓として使用する場合も準じる
		③ 開閉防止逆弁伸縮止水栓		ボールバルブ、キー式 チャッキ式逆流防止・伸縮機能付き		13 ～ 25 アパート・テナントビル等の賃貸物件
F	仕切弁	① ソフトシール仕切弁（鋳鉄管用）	水道用ソフトシール仕切弁 JWWA B 120 及び 準拠	K型(受挿)及びNS型継手一体型（両受、受挿） 内外面エポキシ粉体塗装、右回り開き		75 以上 K型：JWWA B 120 準拠、NS型：JWWA B 120
		② ソフトシール仕切弁（配水用ポリエチレン管用）	水道用ソフトシール仕切弁 JWWA B 120 準拠	メカ形継手一体型 内外面エポキシ粉体塗装、右回り開き		50 以上 補助止水栓として使用する場合も準じる
		③ ソフトシール仕切弁（塩化ビニル管用）	水道用ソフトシール仕切弁 JWWA B 120 準拠	メカ形継手一体型 内外面エポキシ粉体塗装、右回り開き		50 以上 補助止水栓として使用する場合も準じる
		④ ソフトシール仕切弁（ポリエチレン管用）	水道用ソフトシール仕切弁 JWWA B 120 準拠	メカ形継手一体型 内外面エポキシ粉体塗装、右回り開き	ポリエチレン管（JISK6762）用	50 補助止水栓として使用する場合も準じる
G	逆止弁	① 逆止弁		FCD製・フランジ・内外面粉体塗装 スイング式逆流防止機能		75 以上 75以上の量水器二次側
H	仕切弁ボックス	① 仕切弁ボックス（75以上）		蓋：倉吉市デザイン 躯体：レジンコンクリート製	内径250mm以上	75 以上 ソフトシール仕切弁75以上使用の場合
		② 仕切弁ボックス（40～50）		蓋：「水」と「バルブ」表記、躯体：レジンコンクリート製	内径200mm以上	40 ～ 50 40以上の止水栓（仕切弁）ボックスとし使用 ボールバルブ40以上、ソフトシール仕切弁50使用の場合
I	表示ビン	① 給水管理設表示ビン		ステンレス製 φ25mm×70mm程度	青色背景に黒字にて'水'と'矢印'表記	－
J	表示シート	① 埋設表示シート		幅150mm、シングル		－
その他	その他	① 複式量水器ボックス		金属分岐 開閉防止逆弁伸縮止水栓取付可能	量水器2～4個型(2～4系統)	13 ～ 25 アパート・テナントビル等賃貸物件時使用可 幹線給水管分岐は金属継手、別途補助止水栓必要

配水管×給水管φ20mmの標準図

平面図



横断図



番号	名称(呼び称)	規格	備考
①	サドル分水栓		JWWA B 117
②	ポリエチレン管金属継手	内面止水・コア一体型(分止水栓用)	
③	ポリエチレン管	水道用1種ニ層管	JIS K 6762
④	ポリエチレン管金属継手	内面止水・コア一体型(60°ベンド)	
⑤	逆ボ伸縮止水栓 (一次止水栓)	リフト(自重)式逆流防止機能	
⑥	量水器	ネジ	水道局貸与品
⑦	量水器ボックス	止水栓直結ボックス	
⑧	ボールバルブ (補助止水栓)	蝶(T)ハンドル	
⑨	補助止水栓ボックス		
⑩	給水管埋設表示ピン	φ25mm×φ70mm程度、ステンレス製	
⑪	埋設表示シート	シングル	

〈配水管分岐について〉 (原則、不断水工法)

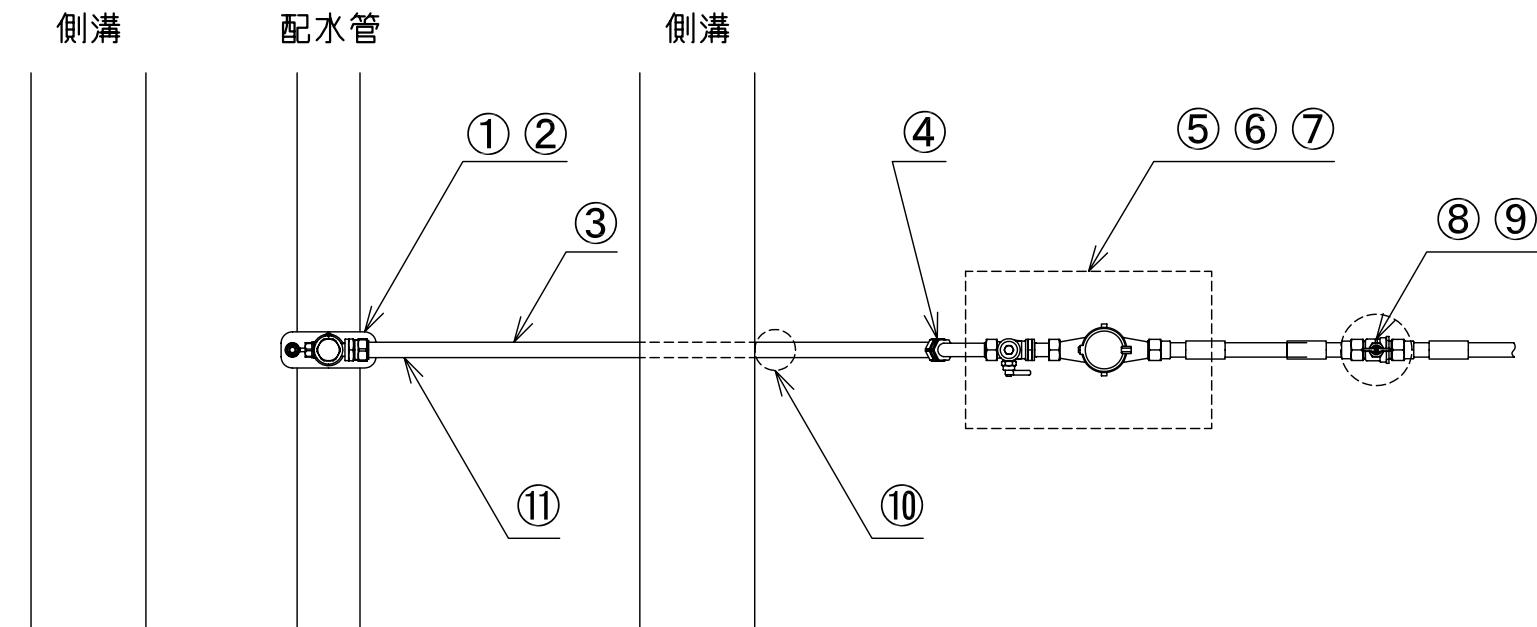
- ・ 配水管(鋼管) 75mm以上 … サドル分水栓(密着コア)
- ・ 配水管(ビニル管) 40mm以上 … サドル分水栓
40mm未満 … 金属継手(HI継手は使わない)
- ・ 配水管(ポリエチレン管) 40mm以上 … サドル分水栓
40mm未満 … ポリエチレン管金属継手、金属継手

〈注意事項〉

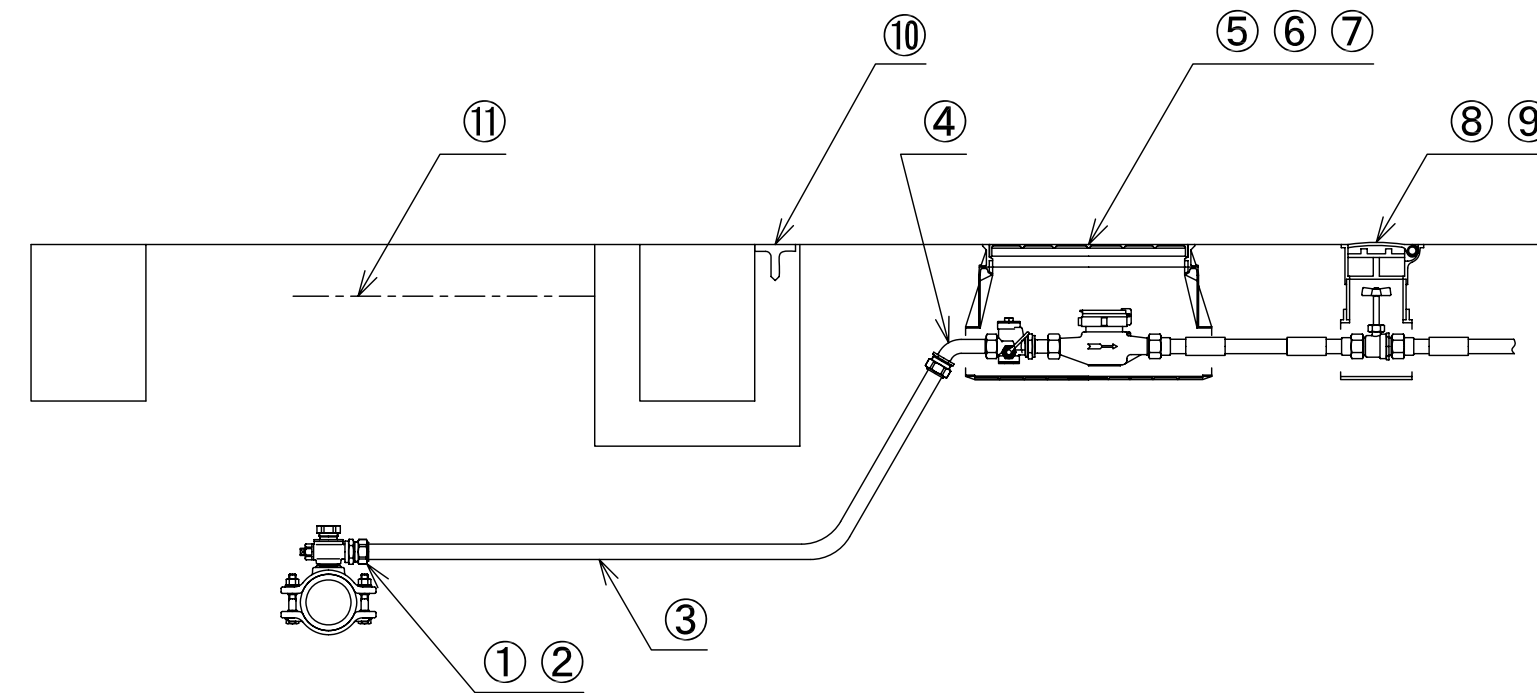
- ・ 全てのポリエチレン管金属継手は、必ず「内面止水・コア一体型」を使用すること。
- ・ PE管の曲げは、許容最小曲げ半径(φ20:R=55)を超えないこと。
- ・ 一次止水栓部のポリエチレン管金属継手(図-④)は、60°ベンドを標準とするが、現場状況に応じてメータソケット又は90°ベンド等を使用すること。
- ・ 一次止水栓は給水管と同口径とし、量水器が13mmの場合は、止水栓伸縮部にて変径すること。
- ・ 量水器位置は、車両乗入部を避けること。
- ・ 道路部埋戻しの際、路床天端に埋設表示シートを敷設すること。
- ・ 道路と宅地の境界線ぎわ(道路側溝等)に給水管埋設表示ピンを設置すること。
- ・ 量水器ボックスは、鋳鉄・FRP製問わず床板を設置すること。

配水管×給水管φ25mmの標準図

平面図



横断図



番号	名称(呼び称)	規格	備考
①	サドル分水栓		JWWA B 117
②	ポリエチレン管金属継手	内面止水・コア一体型(分止水栓用)	
③	ポリエチレン管	水道用1種二層管	JIS K 6762
④	ポリエチレン管金属継手	内面止水・コア一体型(60°ベンド)	
⑤	逆ボ伸縮止水栓 (一次止水栓)	リフト(自重)式逆流防止機能	
⑥	量水器	ネジ	水道局貸与品
⑦	量水器ボックス	止水栓直結ボックス	
⑧	ボールバルブ (補助止水栓)	蝶(T)ハンドル	
⑨	補助止水栓ボックス		
⑩	給水管埋設表示ピン	φ25mm×φ70mm程度、ステンレス製	
⑪	埋設表示シート	シングル	

〈配水管分岐について〉 (原則、不断水工法)

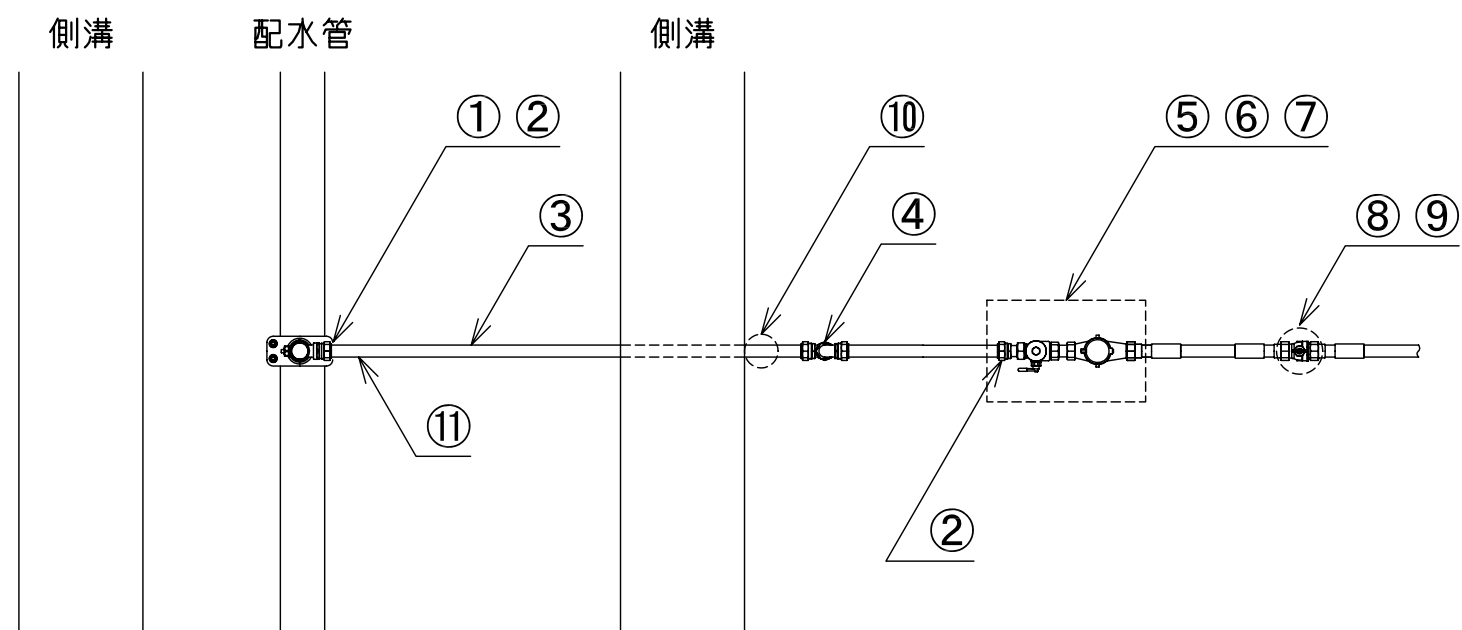
- ・ 配水管(鋼管) 75mm以上 … サドル分水栓(密着コア)
- ・ 配水管(ビニル管) 40mm以上 … サドル分水栓
40mm未満 … 金属継手(HI継手は使わない)
- ・ 配水管(ポリエチレン管) 50mm … サドル分水栓
40mm以下 … ポリエチレン管金属継手、金属継手

〈注意事項〉

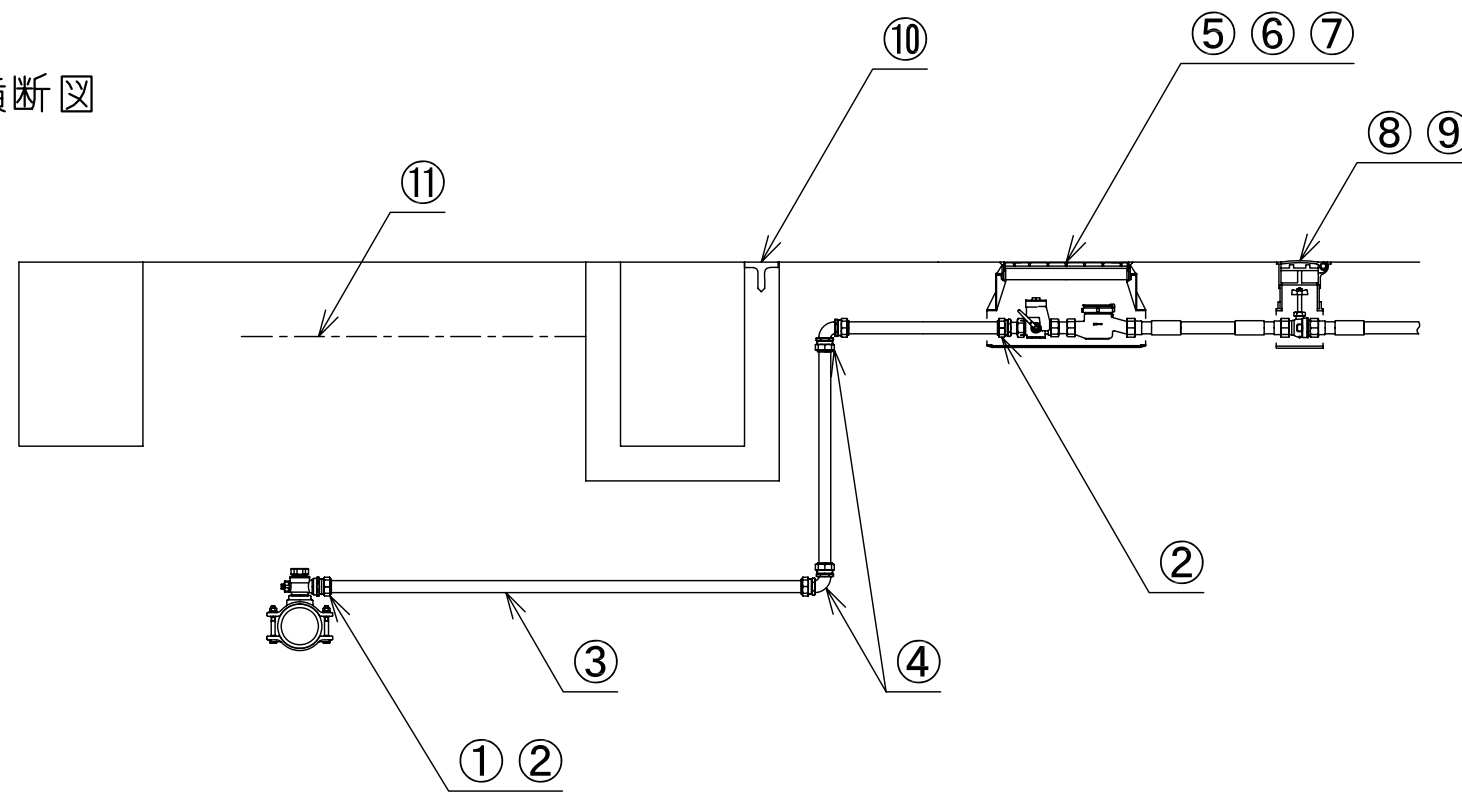
- ・ 全てのポリエチレン管金属継手は、必ず「内面止水・コア一体型」を使用すること。
- ・ PE管の曲げは、許容最小曲げ半径(φ25:R=70)を超えないこと。
- ・ 一次止水栓部のポリエチレン管金属継手(図-④)は、60°ベンドを標準とするが、現場状況に応じてメータソケット又は90°ベンド等を使用すること。
- ・ 一次止水栓は給水管と同口径とし、量水器が20mmの場合は、止水栓伸縮部にて変径すること。
- ・ 量水器位置は、車両乗入部を避けること。
- ・ 道路部埋戻しの際、路床天端に埋設表示シートを敷設すること。
- ・ 道路と宅地の境界線ぎわ(道路側溝等)に給水管埋設表示ピンを設置すること。
- ・ 量水器ボックスは、鋳鉄・FRP製問わず床板を設置すること。

配水管×給水管φ40mmの標準図

平面図



横断図



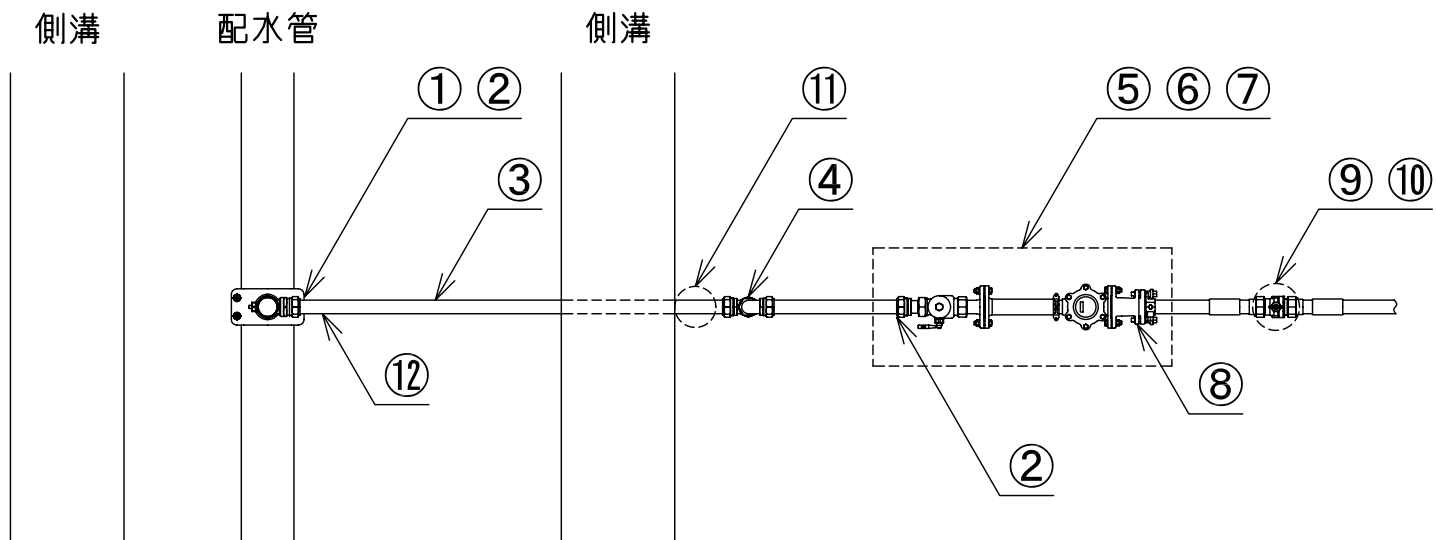
番号	名称(呼び称)	規格	備考
①	サドル分水栓		JWWA B 117
②	ポリエチレン管金属継手	内面止水・コア一体型(分止水栓用)	
③	ポリエチレン管	水道用1種二層管	JIS K 6762
④	ポリエチレン管金属継手	内面止水・コア一体型(エルボ)	
⑤	逆ボ伸縮止水栓 (一次止水栓)	リフト(自重)式逆流防止機能	
⑥	量水器	ネジ	水道局貸与品
⑦	量水器ボックス	止水栓直結ボックス	
⑧	ボールバルブ (補助止水栓)	蝶(T)ハンドル	
⑨	補助止水栓ボックス		
⑩	給水管埋設表示ピン	φ25mm×φ70mm程度、ステンレス製	
⑪	埋設表示シート	シングル	

〈配水管分岐について〉		(原則、不断水工法)
・ 配水管(鋼管)	75mm以上	… サドル分水栓(密着コア)
・ 配水管(ビニル管)	75mm以上	… サドル分水栓
	50mm	… 不断水T字管(給水管50-40金属片落継手使用)
	40mm未満	… T字管(HI継手は使わない)
・ 配水管(ポリエチレン管)	50mm以下	… ポリエチレン管金属継手、T字管

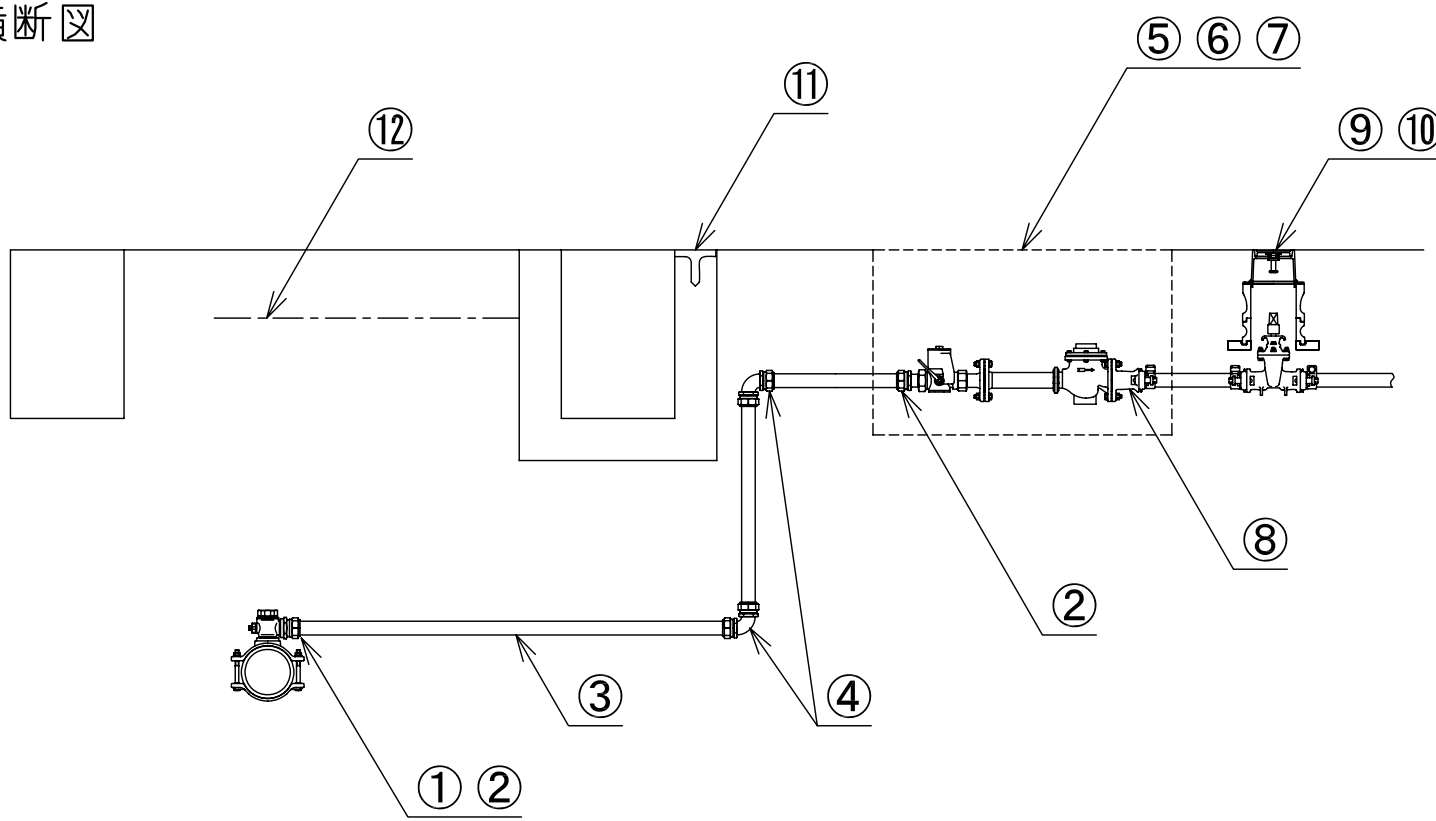
- 〈注意事項〉
- ・ 全てのポリエチレン管金属継手は、必ず「内面止水・コア一体型」を使用すること。
 - ・ PE管の曲げは、許容最小曲げ半径(φ40:R=100)を超えないこと。
 - ・ 量水器位置は、車両乗入部を避けること。
 - ・ 道路部埋戻しの際、路床天端に埋設表示シートを敷設すること。
 - ・ 道路と宅地の境界線(道路側溝等)に給水管埋設表示ピンを設置すること。
 - ・ 量水器ボックスは、鋳鉄・FRP製を問わず床板を設置すること。

配水管×給水管φ50mmの標準図

平面図



横断図



番号	名称(呼び称)	規格	備考
①	サドル分水栓		JWWA B 117
②	ポリエチレン管金属継手	内面止水・コア一体型(分止水栓用)	
③	ポリエチレン管	水道用1種二層管	JIS K 6762
④	ポリエチレン管金属継手	内面止水・コア一体型(エルボ)	
⑤	逆ボ伸縮止水栓 (一次止水栓)	リフト(自重)式逆流防止機能	
⑥	量水器	フランジ	水道局貸与品
⑦	量水器ボックス	止水栓直結ボックス	検針子蓋付き
⑧	メカ型継手	フランジ	
⑨	ソフトシール仕切弁 (補助止水栓)	メカ形継手・内面粉体塗装 (右開)	JWWA B 120 準拠
⑩	仕切弁ボックス	レジン製、内径200mm	
⑪	給水管埋設表示ピン	φ25mm×φ70mm程度、ステンレス製	
⑫	埋設表示シート	シングル	

〈配水管分岐について〉 (原則、不断水工法)

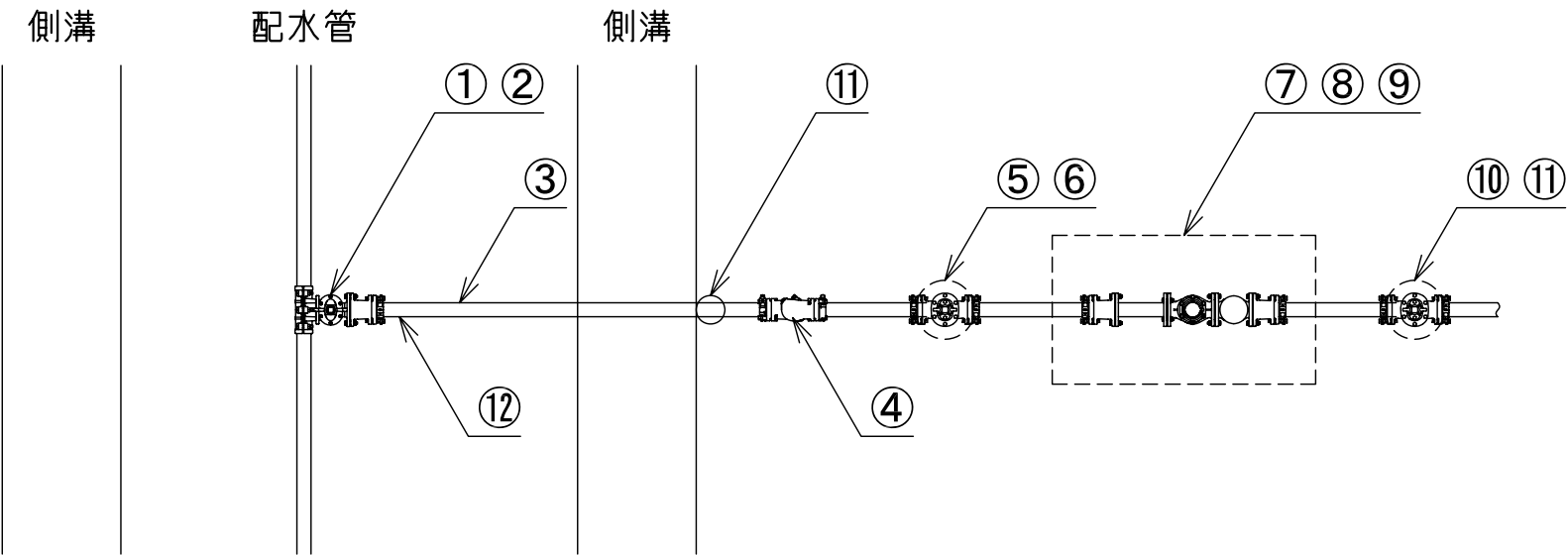
- ・ 配水管(鋼管) 75mm以上 … サドル分水栓(密着コア)
- ・ 配水管(ビニル管) 75mm以上 … サドル分水栓
50mm … 不断水T字管
- ・ 配水管(ポリエチレン管) 50mm以下 … ポリエチレン管金属継手
金属継手(メカ形)

〈注意事項〉

- ・ 全てのポリエチレン管金属継手は、必ず「内面止水・コア一体型」を使用すること。
- ・ PE管の曲げは、許容最小曲げ半径(φ50:R=120)を超えないこと。
- ・ 量水器位置は、車両乗入部を避けること。
- ・ 補助止水栓(図-⑨)は、ソフトシール仕切弁・メカ形継手・内外面粉体塗装・右回し開とし、レジン製ボックスとする。
- ・ 道路部埋戻しの際、路床天端に埋設表示シートを敷設すること。
- ・ 道路と宅地の境界線ぎわ(道路側溝等)に給水管埋設表示ピンを設置すること。

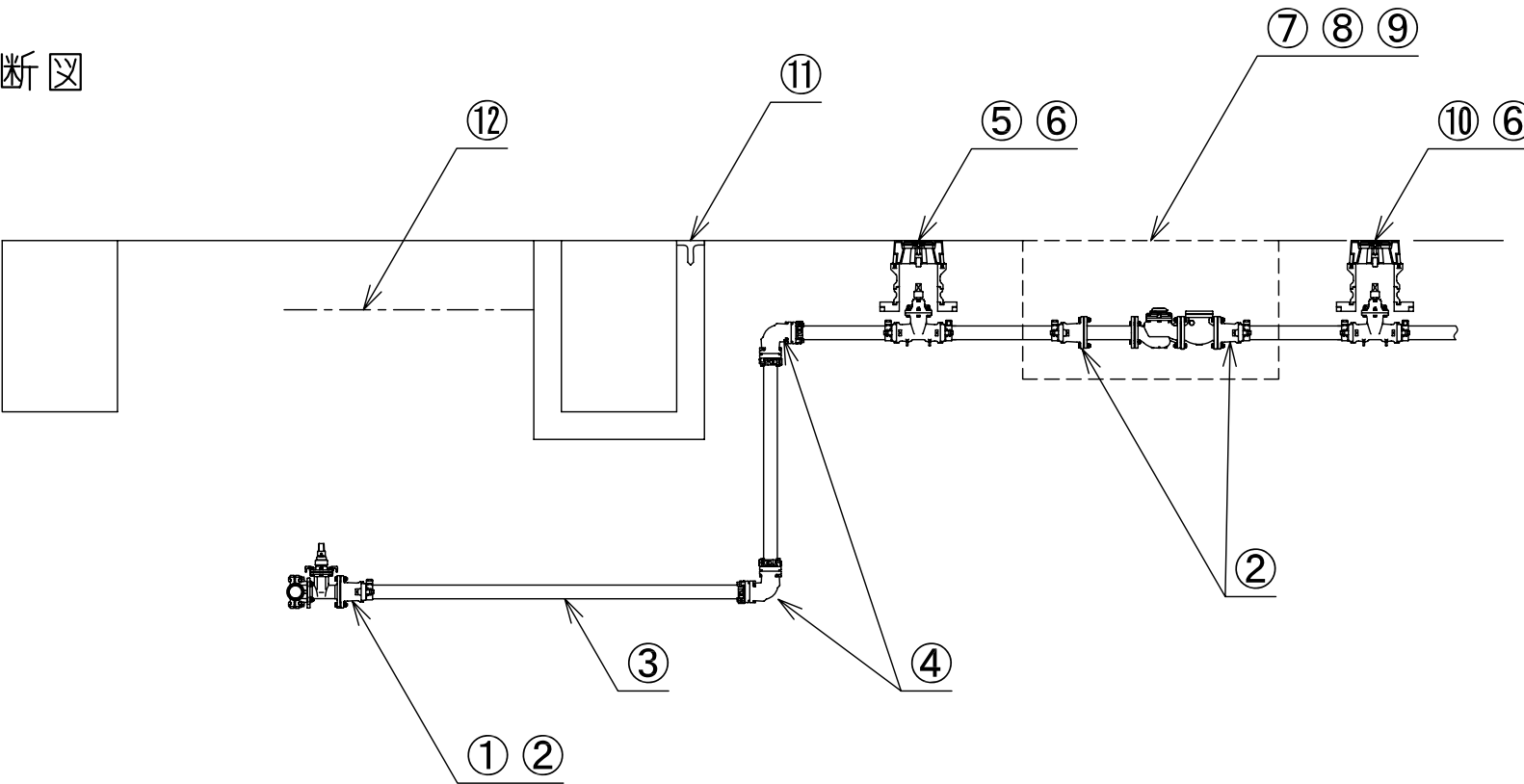
配水管×給水管φ75mm以上の標準図

平面図



番号	名称(呼び称)	規格	備考
①	不断水T字		
②	金属継手(塩化ビニル管用)	メカ形継手(フランジ)	
③	(ゴム輪)塩化ビニル管	HIVP RR又はPE	JWWA 又は JIS
④	金属継手(塩化ビニル管用)	メカ型継手(エルボ)	
⑤	ソフトシール仕切弁 (1次止水栓)	メカ形継手・内面粉体塗装 右開	JWWA B 120 準拠
⑥	仕切弁ボックス	レジン製、内径250mm	
⑦	量水器	フランジ	水道局貸与品
⑧	逆止弁	FCD・スイング式・内面粉体塗装	
⑨	量水器ボックス	検針子窓付き	
⑩	ソフトシール仕切弁 (補助止水栓)	メカ形継手・内面粉体塗装 右開	JWWA B 120 準拠
⑪	給水管埋設表示ピン	φ25mm×φ70mm程度、ステンレス製	
⑫	埋設表示シート	シングル	

横断図



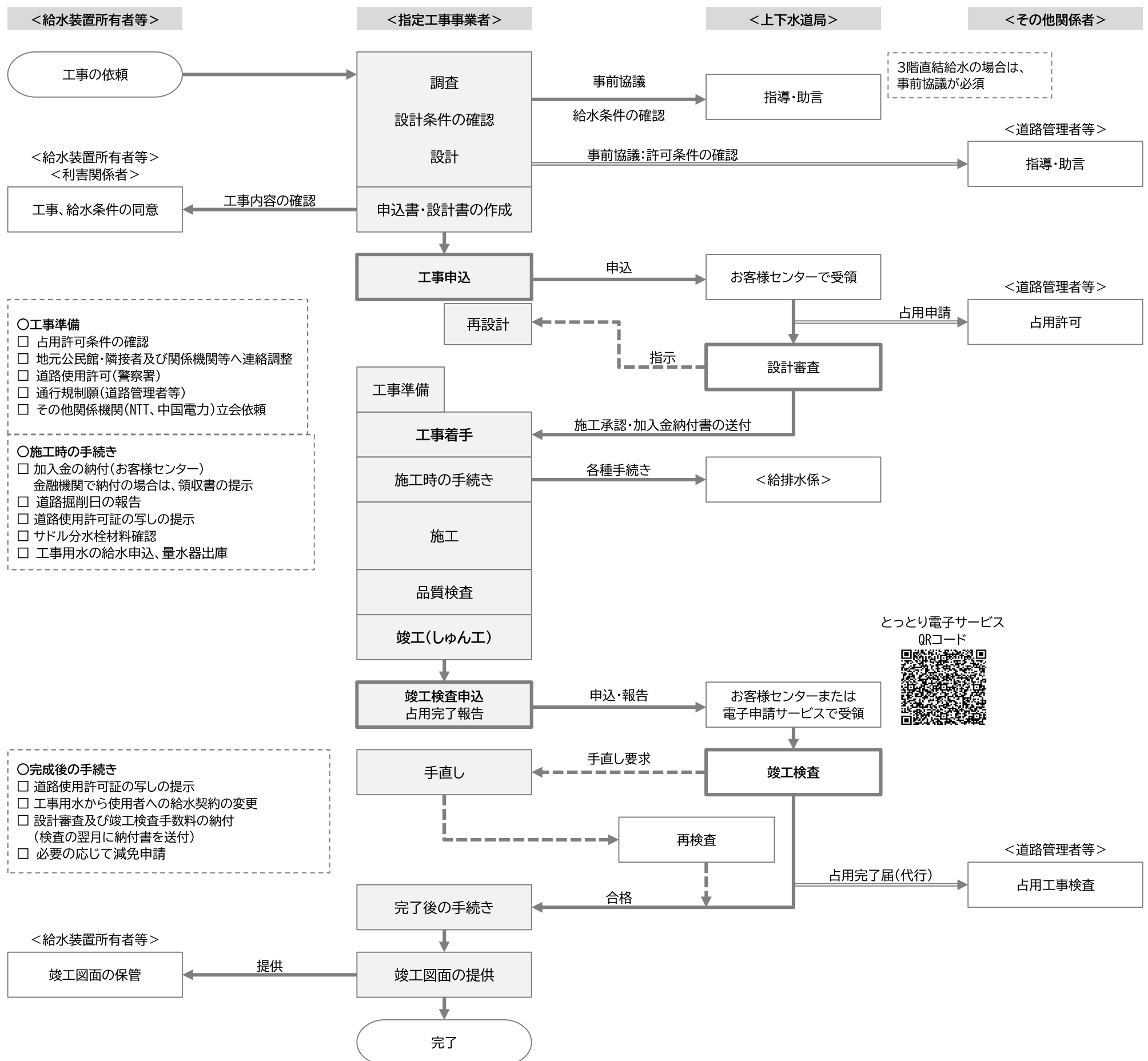
〈配水管分岐について〉 (原則、不断水工法)

- ・ 配水管(鋼管) 75mm以上 … 不断水T字管
- ・ 配水管(ビニル管) 75mm以上 … 不断水T字管

〈注意事項〉

- ・ 全てのビニル継手管は、金属継手とする。(HI継手は使わない)
- ・ ソフトシール仕切弁(図-⑤)は、メカ形継手・内外面粉体塗装・右回し開とし、土被りは0.6m以上とする。
- ・ 逆止弁(図-⑧)は内外面粉体塗装・スイング式とする。
- ・ 量水器位置は、車両乗入部を避けること。
- ・ 道路部埋戻しの際、路床天端に埋設表示シートを敷設すること。
- ・ 道路と宅地の境界線ぎわ(道路側溝等)に給水管埋設表示ピンを設置すること。

10.4 給水装置工事申込フロー図 <参考>



10.5 漏水修繕報告フロー図 <参考>

<給水装置所有者等>

<指定工事事業者>

<上下水道局>

修繕の依頼

工事着手

施工

構造・材質の確認

竣工(しゅん工)

○構造・材質の確認

指定工事事業者が専任する給水装置工事主任技術者の責において、構造及び材質の基準に適合しているかを十分に確認してください。

漏水等修繕報告

報告

お客様センターまたは
電子申請サービスで受領

水道料金の減免申請

お客様センターで受領

完了

とっとり電子サービス
QRコード

